

8・9月の主な日程

15日(日) 事務所夏季休業
19日(木) 分會新聞学習
21日(水) 指導員講習會
24日(金) 本部書記局決起
※事務所が閉まります

※駅宣 24・25日

9月

2日(金) 書記局會議
※事務所が閉まります

4日(日) 三鷹子ども祭り
5日(月) 常任執行委員會
7日(水) 執行委員會
11日(日) 米づくり体験
14日(水) 拡大行動スタート
※駅宣 9日



発行所
東京土建一般労働組合三鷹武蔵野支部
東京都三鷹市上連雀7-33-8
電話 0422(47)9101
Fax 0422(47)9104
発行責任者 佐渡 荘

沖縄から日本の平和を考える

夏といえば平和特集号

現場に行ってみて感じてほしい

今回の夏の平和特集号のテーマは「沖縄から日本の平和を考える」です。そのテーマにふさわしい、シルズ琉球の元山仁士郎さんに、今の沖縄の現状と、沖縄から見た平和の課題についてお話をうかがいました。いま何が日本で起きているのか、本土のマスコミで報道されない一面を見て考えてみましょう。



元山 仁士郎さん

■何を一番に伝えたいか■
高江のヘリパッド工事など。この機関紙が発行されたころには、状況もいろいろある。

■沖縄で起こっていること■
高江や辺野古などの現場に足を運んでほしいと思います。東京に出てきてから普天間基地の問題等に目を向けるよ

うになった。沖縄に生まれ、育ったんですが、基地が当たり前の存在としか捉えていなかったが、東京に出てきて基地のないところで生活をしていて、基地があることが異常だに気がついた。基地に縁遠い人などは、基地がどうい

■沖縄の民意が反映されないこと■
今の自民党政権は、反対派を潰していく、あるいは抹殺するようやり方で、自らの政治をすすめていっている気がしてならないので、すごく不健全だと思う。それは、沖縄問題だけでなく、安保法制や、自民党内の異論なども押し潰してしまうように見える。そういう状況はどうなっ

ていくのかと不安になる。■急遽、沖縄に帰ったと聞きました。居ても経つていられないのは、テレビやネットでも、めちゃくちゃなことをしているのを見えますが、現場に行くことで、22日に県道をなぜ封鎖したのか、市民側のテントを撤去したのか、ヘリパッド工事やH地区・G地区の道路も防衛局が封鎖して、権限や法的根拠がどこにあるのか

を現場にいる防衛局の職員に直接尋ねても示せなかった。本当にやりたい放題でめちゃくちゃなことをしていると感じました。また、友人・知人が沖縄に行きたいと話していたので、彼らと現場をつなげるのは私の役目だと感じて沖縄に行きました。■今までは沖縄の警察などが警備し、沖縄の業者が工事をしているのを県民が抗議していたが、今は全国から機動隊が500人以上入っている。中央からの圧力が強まり、選挙ではオール沖縄が勝つたにも関わらず、沖縄県民の民意が反映されていない状況で、対立の構図が深まったように思うが、沖縄の人たちはどう感じていますか■

選挙で何度も民意を示しても、一顧だにされないのは、どうしたらいいのかとも思う。いろんな意味もあるが、民主主義の国家において、基地が争点になった選挙で、現役の大員に対して10万票以上の差で沖縄の民意を示したのに、参院選翌日、高江では朝6時から工事が再開され、辺野古の件で国は沖縄を訴えた。沖縄は日本にとって何なのか。民主主義国家としていったい何なのか。沖縄は差別されているのか、思わざるを得ない状況です。■東京土建も結成から70年、結成当初、戦争のための建設は2度としないと運動してきた組合■

現場には作業着で抗議している人がいて、沖縄タイムスに取り上げられていました。その人が何で、作業着で抗議をしているかと聞くと、建設会社に以前勤めていて、高江にヘリパッドを作るといっているのは、同じ建築業として「恥」だと。私たちは、誇りある建築をしないといけないのに、基地建設は許せないと感じていました。



5日から6日の強制撤去の阻止にかけつけた住民と全国の仲間は約1000人に

■急遽、沖縄に帰ったと聞きました。居ても経つていられないのは、テレビやネットでも、めちゃくちゃなことをしているのを見えますが、現場に行くことで、22日に県道をなぜ封鎖したのか、市民側のテントを撤去したのか、ヘリパッド工事やH地区・G地区の道路も防衛局が封鎖して、権限や法的根拠がどこにあるのか

を現場にいる防衛局の職員に直接尋ねても示せなかった。本当にやりたい放題でめちゃくちゃなことをしていると感じました。また、友人・知人が沖縄に行きたいと話していたので、彼らと現場をつなげるのは私の役目だと感じて沖縄に行きました。■今までは沖縄の警察などが警備し、沖縄の業者が工事をしているのを県民が抗議していたが、今は全国から機動隊が500人以上入っている。中央からの圧力が強まり、選挙ではオール沖縄が勝つたにも関わらず、沖縄県民の民意が反映されていない状況で、対立の構図が深まったように思うが、沖縄の人たちはどう感じていますか■

選挙で何度も民意を示しても、一顧だにされないのは、どうしたらいいのかとも思う。いろんな意味もあるが、民主主義の国家において、基地が争点になった選挙で、現役の大員に対して10万票以上の差で沖縄の民意を示したのに、参院選翌日、高江では朝6時から工事が再開され、辺野古の件で国は沖縄を訴えた。沖縄は日本にとって何なのか。民主主義国家としていったい何なのか。沖縄は差別されているのか、思わざるを得ない状況です。■東京土建も結成から70年、結成当初、戦争のための建設は2度としないと運動してきた組合■

現場には作業着で抗議している人がいて、沖縄タイムスに取り上げられていました。その人が何で、作業着で抗議をしているかと聞くと、建設会社に以前勤めていて、高江にヘリパッドを作るといっているのは、同じ建築業として「恥」だと。私たちは、誇りある建築をしないといけないのに、基地建設は許せないと感じていました。

現場には作業着で抗議している人がいて、沖縄タイムスに取り上げられていました。その人が何で、作業着で抗議をしているかと聞くと、建設会社に以前勤めていて、高江にヘリパッドを作るといっているのは、同じ建築業として「恥」だと。私たちは、誇りある建築をしないといけないのに、基地建設は許せないと感じていました。

現場には作業着で抗議している人がいて、沖縄タイムスに取り上げられていました。その人が何で、作業着で抗議をしているかと聞くと、建設会社に以前勤めていて、高江にヘリパッドを作るといっているのは、同じ建築業として「恥」だと。私たちは、誇りある建築をしないといけないのに、基地建設は許せないと感じていました。

三鷹市長と初懇談 住宅デー報告をし防災協定も前向きに

三鷹地域で集まった募金を清原市長が立ち会った。と、三鷹福祉協議会の会長へ直接寄付をしました。

【仕事対策部発】住宅デーの報告を兼ねて、武蔵野市長に続いて、7月14日に清原三鷹市長と懇談を行いました。住宅デーでの清原市長との懇談は、はじめて実現しました。

懇談では、6月5日の視察のお礼や、住宅デーの特徴を報告しました。市長から、数年前に工作教室でも



右から2人目が清原市長



機動隊が住民を威圧する

雑記林

1946年11月3日に公布されて、今年で70年を迎える日本国憲法の三大基本原則は、基本的な人権の尊重、国民主権、平和主義である。先の大戦の反省から、あのような戦争は二度と起こさない、とした平和主義の理念は、第9条はもちろん前文にもつらぬかれている。人はだれでも生まれながらにして自由で、人間として平等に尊重される権利をもちている。第13条では「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公益及び公の秩序に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする」と、あたりまえのようなことが、『自民党憲法改正草案』では、「全ての国民は、人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公益及び公の秩序に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大限に尊重されなければならない」と前半では「個人」と「人」とたった一文字の違いであり、後半は「公共の福祉」と「公益及び公の秩序」との違い、だけでは足りないのか。個人の権利は国より大きい」という意味が含まれる現行憲法に対し、「個」の一字をけずるだけで「国の意向にさからうな」とした草案。改正話しがまたぞろで来た今、『あたらしい憲法草案のほなし』という本の一読を。W・Y

私たちは普通に暮らしたいだけ 全国からヘリパッド反対で結集



抗議しながら機動隊に話しかける住民たち

住民の前に立つ機動隊員一人ひとりに語りかけます。

「私たちは、この自然のなかで、普通に暮らしたいだけ、それを望むのはおかしいことですか」と、N1ゲートの名称のメインゲート前で反対運動の市民を威圧している機動隊(大阪府警)の若い隊員に、地元の人が語りかけます。

7月22日にN1メインゲートの反対住民の強制排除では、負傷者が何人も出ました。ジャーナリストの安田浩一さんは、現地での光景を目の当たりにして、「暴力をふるうことを躊躇していないことに、驚きと恐ろしさを覚えた」と、話します。小さな集落に東京・神奈川・千葉などの機動隊員が押し寄せ、住民を威圧しています。



防衛局員に抗議する住民

1裏からの搬入をしようとしていますが、防衛局はN1裏からの搬入をしようとしていますが、防衛局職員10数人がいきなり、朝方に自ら掲示した5日までの撤去表示を剥がし、「関係者以外立入禁止」を貼りつけています。

そして、N1裏に設置したテントなどは違法だとして、防衛局は5日までの撤去を求め張り紙をし、入口には2台のレンタカーを放置して、反対派住民の妨害をしています。7月22日のメインゲートでの強制撤去と同様に、5から6日にかけて、機動隊を使って、強制撤去が行われるのではないかと、全国から5日には1000人を超える住民が結集しました。その日のN1裏テントは日々大きくなっている



危険なヘリパッド建設に反対する市民と、全国から連日4000回以上も、離発着を繰り返して、反対行動が続いている。

高江の基礎知識

東村高江は、沖縄県北部にある人口約1500人の集落。1996年のSACO(沖縄に関する日米特別行動委員会)合意によって、沖縄県北部の東村と国頭村にまたがる米軍の北部訓練場の半分を返還すること引き換えに、返還予定地にあったヘリパッドを南側(東村高江周辺)に移設することとした。

2006年に高江の集落を取り囲むように6か所のヘリパッド建設が発表された。いちばん近いヘリパッドは、民家から400メートルほど。2007年から、政府はヘリパッドの建設工事を始めたが、住民らの反対もあり、完成したのは2か所のみで、残る4か所については、工事が行われていなかった。しかし、7月の参院選投票日の翌日から工事が再開された。7月21・22日には、東京・神奈川なども含めた機動隊500人が高江に入り、非暴力の座り込み24時間をして住民の強制排除をはじめた。

同時に、現在でも昼夜問わずオスプレイが訓練をし、ヘリパッド完成時には、オスプレイ訓練施設として、年間4000回以上も、離発着を繰り返して、反対行動が続いている。



出典元:沖縄県HP(米軍提供施設区域の概要)

沖縄を差別するな



大阪在住だった頃は、ヘイトに苦しむとともに、通称名で暮らしていたのですが、

「沖縄の人たちは、偏見や差別がないから本名で生活することをにしたら」と、そして「沖縄で差別と言え、基地の問題で、沖縄は差別をされている。自分の住む町にいくなり基地が建設され、オスプレイが飛ぶことを考えたらわかるはず。日本全体の問題として基地を考えてほしい」と、話してくれました。

定がされていること、私がいずれ避難して学校に通う家庭もあるほどです。住民が言う「普通に暮らしたいだけ」は、あたり前の願いで、『沖縄の基地』という言葉は、沖縄に対する差別であり、『基地は日本の問題』だと、あらためて実感させられました。 m

平和の思いつなぐ平和行進

【千葉むつみ職員記】5月6日に北海道礼文島を出発した国民平和大行進が、7月25日に西東京市から武蔵野市に引き継がれました。

この日、西東京市から引き継いだ武蔵野市は「非核平和都市宣言」を表明していました。出発前の集会で武蔵野市長からのメッセージが紹介されました。通し行進者の山田大枝さん、うたごえの大熊啓さんらを先頭にギター演奏で歌いながら50人が行進に参加しました。五日市街道から吉祥寺の街を通り井の頭公園で三鷹市に引き継ぎます。通し行進の山本太枝さんが



三鷹のHPにある資料館

武蔵野・三鷹から平和を発信

武蔵野市では、市の平和施策や武蔵野の空襲の歴史を知ってもらい、同時に日本国憲法や人権の大切さを再認識してもらうためとして、「平和憲法手帳」が作成されました。それぞれの自治体が入力している『平和事業』を利用して、「平和」を広めていきたいと思います。

これは、戦争の記憶を風化させることなく次世代に継承し、平和の尊さを学んでいくことを目的として、市民のみならずからご提供



武蔵野の平和・憲法手帳で学ぼう

「それぞれの自治体が昔の国鉄の時刻表で網の目のように、この行進を引き継いでいることに感動しています」と話されています。青と白の風船、軽やかなコールで沿道の反応も良く、80人が三鷹市役所まで楽しく行進に参加しました。



8月6日の広島、9日の長崎の原水爆禁止世界大会へと平和行進は続きます。「核兵器のない世界」を願う人なら誰でも、一歩でも二歩でも加わります。来年は一緒に歩いてみませんか。

原水爆禁止世界大会に参加して

三鷹・武蔵野の両原水協に代表を送り出す

平和な世界・日本を願う運動強化を



ですが、いつも感じるのは、「原子力(原爆)」の恐ろしさです。

安倍首相は、多くの国民の世論を無視して、戦争法を防衛のためと閣議決定し、国会でも通しました。いざ戦争となる

【下連雀分會・橋本昇記】8月4から6日までの3日間、暑い広島で開かれた熱さあふれた原水爆禁止世界大会に参加させていただきました。参加は、東京土建の代表として、三鷹原水協としての参加です。

今年で3度目の参加となり



いまだ東日本の津波による福島原発の事故

ように、国連会議で原水爆禁止令が出されていますが、使われることがあると思いません。二度と広島・長崎を繰り返さない運動が重要だと思います。

核兵器廃絶を訴え続けて行きたい

は、後始末もできていないことを見ると、恐ろしさを感じました。



【奥村研一書記】現在、国連加盟国の7割を超える国が核兵器禁止を支持し、禁止条約の交渉開始を求めています。しかし、核保有国はこうした動きに反発し、これまで以上に抵抗を強めています。

つづ、原爆ドームを見てきました。私は、あらためて平和な世界・日本を願う、運動を強化していくことが大切だと感じました。

そのようななか、武蔵野代表団として、原水爆禁止2016年世界大会に参加しました。核保有国の抵抗を打ち破るために、さらに大きな世論と運動を築かなければなりません。

8月4日、午後2時より広島県立総合体育館グリーンアリーナにて原水爆禁止世界大会が開かれ、「核兵器のない世界へ」「平和で公正な世

2日目の8月5日は、「動く分科会」に参加し、岩国基地調査行動をしました。在日米軍と自衛隊基地横で、アメリカの軍事戦略

3日目の8月6日朝、広島市平和記念式典に向かいました。8時15分、1分間の黙とうの後、広島市長による平和宣言がありました。式典参加国は91か国でした。その後、グリーンア

占めるまでになりました。親の代はもちろん、祖父の代でも、戦争の恐ろしさを肌身で知っている人が少なくなっていることになります。71年前が遠い時代にならないようにしていかなくてはなりません。



家族で楽しく平和にふれる

東京湾唯一の自然島

この夏、家族で楽しみながら戦跡をめぐってみませんか。そこは、「東京湾唯一の自然島(無人島)」である

『猿島』です。猿島は、幕末から第二次世界大戦前にかけて、首都を守るための防衛拠点として、陸軍・海軍が東京湾要塞の猿島砲台を築造し、運用されていま



切通しにある要塞跡

この施設が実戦に使われてはいないということですが、島内の岩壁を掘って煉瓦で覆われた要塞跡は現在も残っており、「国史跡」指定されているところです。

そして、島のまわりは浅瀬になっていて、釣りのおすすめポイントが3つほどあります。レンタルの釣竿もあるので、手ぶらで釣りも楽しめます。

家族で楽しめるポイント一つ、それは「BBQ」です。必要な機材はレンタルして楽しめます。好きな食材を持って、BBQを楽しむことができます(コンロ・炭・花

火などの持ち込みは不可)。都心から1時間あまりで行け、無人島で平和にふれ、楽しめる場所として、1度家族で行ってみてはいかがでしょうか。

※横須賀の「三笠棧橋」から船で10分。乗船料は、大人1300円、小学生650円、小学生未満無料。他に入園料が、大人200円、小・中学生100円。



船乗り場横には軍艦みかさ

舎や弾薬庫跡、レンガ造りのトンネル内にある指令部、弾薬庫跡は、そのつくり

は、戦跡散策だけではありません。東京湾に浮かぶ無人島の海水浴場は、水も澄み、対岸の横須賀の街並みを見ながら海水浴が楽しめます。

手ぶらで楽しめるのも一つ、それは「BBQ」です。必要な機材はレンタルして楽しめます。好きな食材を持って、BBQを楽しむことができます(コンロ・炭・花



きれいで透き通った水野海水浴場



☆…釣りのおすすめポイント

ひとまわりするのに1時間ほどしかかからない大きさの無人島

春夏秋冬

戦争の記憶

【新川分會教宣部・江野宗太郎記】我が家は、和紙の町小川から小京都川越に通じる馬頭観音の石碑がある三叉路に位置し、木炭自動車我が家の井戸から水を汲み木炭を補強し走って行った。

「春」長屋の雑巾は出店が並び近隣から大勢の人で賑わった。「初夏」お蚕様が来た、音を立てて桑の葉を食べる家お蚕様一色となった。「秋」薩摩芋と稲の収穫も終り、土間に米俵が積み上がった。「初冬」の麦ふみに正月までの日を数える師走の暮らしに、やがて戦争による警戒が



民主主義ってなんだ

近くの熊谷が爆撃にあい、戦火は近々まで迫って来た。機銃操作に近くの人々が片足を無くした。夏の暑い日戦争が終った。私が国民学校1年生までの出来事です。そして今、安倍政権はこの国を戦争の出来る国へと...

たまには話題の映画でも

話題の新作映画を、ご家族で観に行きませんか。下記以外の映画も多数あります。ご注文は早めに(下記は一例)。

- ☆ゴーストバスターズ ☆青空エール ☆スター・トレック
- ☆ミュタント・ニンジャ・タートルズ ☆アングリーバード
- ☆メカニック：ワールドミッション ☆ジェイソン・ボーン 等多数

◇映画・イベントなど「メイジャー」のHPで検索してください。
※注文や問い合わせは、支部事務所0422-47-9101まで
※注：割引額は、前売券の販売価格から一律500円です。

米づくり体験 第3章

みんなで

田植え体験に参加者出来なかった方も大歓迎！
今回は、稲刈り&BBQをみんなで楽しんで、
無農薬のぶどう狩りをします。

[とき]9月11日(日) [ところ]茨城県・朝日里山学校など
※参加は、バスで現地へ向かいます。
詳細は群会議で配布のチラシを参照してください。

稲刈りに行きます

参加しよう

- ◇木造建築物の組立て等作業主任者
【とき】8月30・31日
- ◇足場の組立等作業主任者
【とき】9月27・28日
- ◇型枠支保工の組立て等作業主任者
【とき】10月11・12日
- ◇コンクリート工作物の解体等作業主任者
【とき】10月26・27日
- ◇地山及び土止めの掘削支保工作業主任者
【とき】10月3～5日
- ◇有機溶剤作業主任者
【とき】9月14・15日
- ◇石綿作業主任者
【とき】10月24・25日
- ◇酸欠・硫化水素作業主任者
【とき】10月17・19日

今月の主な講習会

今月の主な講習会をご案内します。受講場所・受講料など詳しくは支部までお問合せを。

- ◇職長・安全衛生責任者教育
【とき】①10月4・5日、②11月14・15日
- ◇足場作業主任者能力向上教育
【とき】10月25日
- ◇足場特別教育(既従事者)
【とき】8月30日
- ◇自由研削砥石
【とき】9月14日
- ◇ロープ高所作業特別教育
【とき】9月1日
- ◇丸のこ・熱中症特別教育
【とき】①9月15日、②10月19日
- ◇電動工具安全取扱特別教育
【とき】①9月14・15日、②10月18・19日
- ◇玉掛技能講習
【とき】9月9～11日(西多摩支部)
- ◇小型移動式クレーン
【とき】9月8～10日(西多摩支部)
- ◇高所作業者(外部)
【とき】9月16・17日
- ◇小型車輛系建設機械(整地)特別教育
【とき】9月9・10日(西多摩支部)
- ◇小型車輛系建設機械(解体)特別教育
【とき】9月11日



【須藤学書記】7月24日(日)、家族そろって米づくり体験企画第2弾として、「草刈り&とうもろこし狩り」を、親子20名が参加して茨城県石岡市の朝日里山学校で行いました。
「何故、草刈りが大切かと
いうと草が生えていると稲に十分な栄養がいかなくなり、成長を阻害します」「稲の先や葉の部分は鋭くなっているため、草刈りをする場合は目や手を傷つけないようにして下さい」などと、現地のスタッフから草刈りの大切さや注点を聞き、親子で草刈り開始です。
田んぼに行くとも5月に植えた稲は生長して、立派に育っていました。実際に作業してみると、稲の先端部分は鋭く本当に危険です。稲の間隔が空き過ぎている所は、雑草

秋には美味しいお米になるでしょう。昼食は夏野菜カレーを堪能して、休憩後とうもろこし狩りを近くの畑で行い、体験は終了しました。
今回は9月の稲刈りです。
※詳しくは、支部事務所までお問い合わせください。



下連雀分会住宅デー 四小で15年の参加

参加者は、他分会から16人応援に来ていただき、書記1人、下連雀分会から13人の計30人での取りくみとなりました。
1時間遅くの開始でしたが、用意した本立て50セット、プランター60セット、モザイク100枚が終了時間の3時半ごろになくなるほど、大盛況でした。
子どもたちも命な姿や笑顔、そして我が子を見守る親御さんたちの笑顔、今年もたくさん見ることができました。
むらさき四小まつりで10年、四小フェスタは今年で5年、あわせると四小での住宅デーは15年にもなりました。
夏休み最初の日曜日は、四小フェスタに行けば、木工とモザイクができる、子どもたちや地域に根つき、だいぶ定着してきたのではないのでしょうか。
四小の卒業生も大人になり、その子どもたちがまた四小フェスタに訪れる日もそんなに遠くはないことでしょう。
今年も組合員さん一人ひとりの指導や、気配りのおかげで大きなケガもなく無事終了することができました。参加していただいた組合員さん、休みのなか、大変ご苦労さまでした。



なぜ草刈りが大切なのか 米づくり体験

【須藤学書記】7月24日(日)、家族そろって米づくり体験企画第2弾として、「草刈り&とうもろこし狩り」を、親子20名が参加して茨城県石岡市の朝日里山学校で行いました。
「何故、草刈りが大切かと
いうと草が生えていると稲に十分な栄養がいかなくなり、成長を阻害します」「稲の先や葉の部分は鋭くなっているため、草刈りをする場合は目や手を傷つけないようにして下さい」などと、現地のスタッフから草刈りの大切さや注点を聞き、親子で草刈り開始です。
田んぼに行くとも5月に植えた稲は生長して、立派に育っていました。実際に作業してみると、稲の先端部分は鋭く本当に危険です。稲の間隔が空き過ぎている所は、雑草



フォトコンはじまりました

第2回の三鷹武蔵野支部フォトコンテスト開催をします。
[期間] 11月末まで
[対象] 組合員とその家族
[部門] 風景・スナップ・家族
※各部門3点まで
詳しくは群会議で配布のチラシを参照してください。

支那住宅センター会員募集

リフォームセンターも同時募集します

市民や関係諸団体などの会員からの住宅相談の受け皿として、「支那住宅センター」があります。運動的な面も持ち合わせた住宅センターではありませんが、市民などに喜ばれるやりがいのある住宅センターです。
新たに合併をしてスタートとなる「住宅センター」の会員募集を行います。7月から募集をはじめました。みなさんの登録をお願いします(用紙は群会議に配布)。同時に、三鷹市住宅リフォームセンター(三鷹市と協定を結んでいる事業の会員も募集しています)。
※東京土建の他、建設ユニオン・武蔵野建設・三鷹商工会に所属していること。三鷹市住宅リフォームセンターへの登録には、支部の住宅センター会員であり、三鷹市在住か三鷹市に会社がある組合員が対象となります。
※詳しくは、支部事務所までお問い合わせください。

開運縁結び 杵築神社

【境南町分会・藤澤義明分会 長記】杵築神社は武蔵野駅南口より徒歩3分のところにあります。
350年ほど前、3代将軍 家光公の従兄弟で、出雲の松江初代藩主・松平直政の高狩場で屋敷内に杵築大社(現出雲大社)と稲荷神社を創建されたのであります。
現在は、えびす様と大國様雲の松江初代藩主・松平直政の高狩場で屋敷内に杵築大社(現出雲大社)と稲荷神社を創建されたのであります。
「三富士山や千本イチヨウも見てござであり、『武蔵野吉祥七福神めぐり』のひとつでもあります。」
坂神社、富士浅間神社、金毘羅様、弁天様も祀られています。